

新潟労福協

No9 2012年4月26日

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
E-mail: ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL http://www.niigataken-rofukukyo.com/
発行人 江花和郎

第1回地方労福協会議（大阪市） 生活困窮者への支援策強化 ライフサポート全国連絡会議開催



2012年3月15（木）～16日（金）の両日、シティプラザ大阪（大阪市）で第1回地方労福協会議が開催されました。

会議は、中央の活動報告後、パーソナルサポート事業を先進的に取り組んでいる沖縄労福協・濱里総合コーディネーターから「公労使一体となった雇用対策の推進」、消費者支援機構関西・西島事務局長から「集团的消費者被害救済制度の導入について」、NPO釜ヶ崎支援機構・沖野副理事長から「ホームレス自立支援法に関するアピール」の特別報告を受けました。協議事項として、2012国際協同組合年の対応、反貧困全国キャンペーンの対応、LSC実務者・相談員の交流・研修のあり方について全国統一した活動の意見交換を行なわれました。

終了後、引き続いて「ライフサポート事業全国

連絡会議」が開催され、社会的包摂センター事務局長の「遠藤智子」氏より、昨年10月開設された「寄り添いホットライン」の活動と相談状況について報告がされました。その後、全国で取り組まれているLSC事業のブロック報告があり、東部ブロック労福協を代表して、新潟から「新潟県LSCの現状と課題」についての報告がされました。

東部ブロック労福協

ライフサポート事業経験交流 先進的な活動を展開している労福協に学ぶ

2012年2月16（木）～17日（金）の両日、静岡市において、東部ブロック労福協としては、初めての試みとなる「ライフサポート事業経験交流会」が開催され、山田専務理事・小野塚事務局長が参加されました。

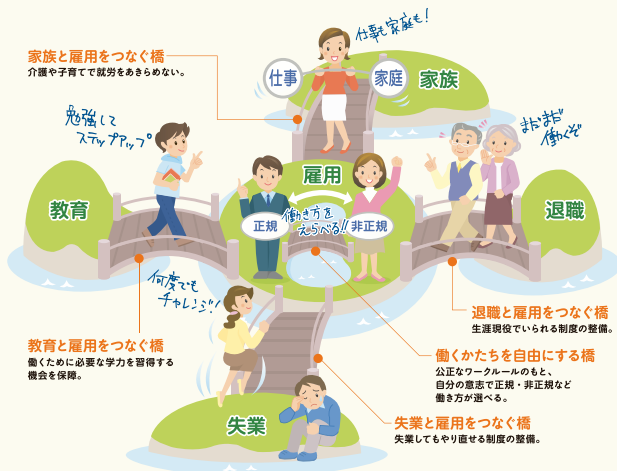
交流会は、先進的な活動を展開している「長野県暮らしサポートセンター」と「ライフサポートセンターしずおか」より現状と課題について報告があり、その後、各県の取り組み状況や抱える課題について現状を踏まえた報告と意見交換がされました。

LSC事業のスタートから地域組織をしっかりと立ち上げた県や昨年末のように立ち上げた県など、東部ブロック内の取り組みは様々ですが、労働組合に組織されていない勤労者等含め、広く勤労市民を対象に暮らし全般にわたる相談活動、さらには地域での生きがいを支える活動の継続を改めて確認する有意義な交流会となりました。



雇用につながる「安心の橋」を架けて、 「働くことを軸とする安心社会」をつくらう。

会社での仕事や、地域のボランティア、炊事洗濯といった家事労働。私たちの日常は多くの人たちが働き、互いに支え合うことで成り立っています。
しかし、失業や就職難、家庭の事情など、働かなくても働けない現実もあります。さまざまな困難を取り除き、「働きたい」という思いを実現するには、雇用につながる5つの「安心の橋」が必要です。



「安心の橋」を架けて、誰もが働き、つながることができるようになれば、人々は活き活きとやりがいを持って働いて、安心してくらすことができ、社会は活力を増していきます。

なんでも労働相談ダイヤル いこうよ 連合に
☎0120-154-052
http://www.jtuc-rengo.or.jp

ニッポンの
原動力・連合
日本労働組合総連合会

ZENROSAI NEWS

自然災害保障付
火災共済

災害は突然やってきます。

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

自然災害共済

大型タイプ

で万一の災害に備えましょう。

※自然災害共済は、単独ではご加入いただけません。火災共済に追加してご加入ください。

資料のご請求は

安心シェア

検索

または、最寄の総合生協共済
ショップ窓口までお問い合わせ
ください。

総合生協

●新潟県では、総合生協
が全労済より業務を受託
新潟県総合生活協同組合として実施しています。

保障のことなら
全労済

1512B003

<労働者福祉政策について>

泉田知事に要請書を提出

パーソナル・サポート・サービスの早期実現に向け

1月31日（火）県労福協は、泉田県知事を訪れ、①福島県民をはじめ、被災者・避難者に対する生活支援、②格差・貧困の是正とセーフティネット強化、③多重債務対策、④消費者政策の充実・強化と食の安全・安心の確保、⑤国際協同組合年の

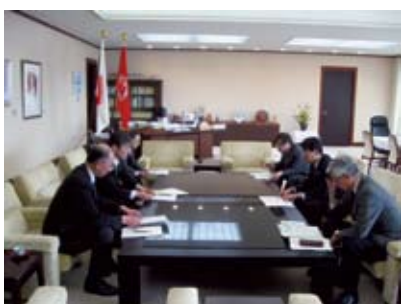


取り組み、⑥中小企業勤労者の福祉・福利格差の是正など政策要望は6項目に及

びましたが、時間の関係もあり2点に絞り意見交換を行いました。

昨年、暮れに内閣府より応募のあったパーソナル・サポート・モデル・プロジェクト（第3次分）に新潟県が実施地域に選定され、労福協としても新しい公共の担い手として力をつけていきたいと考えているので、是非、受託させていただきたいと要請しました。

また、「国際協同組合年」にあたり、1月23日に県内の協同組合など15団体による新潟県実行委員会が発足し、協同組合の意義や役割などについて県民への理解を深めるため、「協同」をテーマ



とした多彩な企画を立案していることや県としての後援および担当窓口の整理、理解を深めるための勉強会への参加を要請しました。

知事から労福協

の日頃の努力に感謝したい。

パーソナル・サポートの公募については、これまで労福協が積極的に関わってきており準備も進んでいると聞いている。これから受託団体の公募となるが日程が決まり次第連絡したい。

国際協同組合年の取り組みについては、勉強会も含めできるだけ協力していきたい。協同組合の担当窓口は、その団体によって異なっているが、今週中に体制を固めたい。との表明がされました。

新潟県労福協・長岡地区労福協主催

人にやさしい街づくり

人と人とのつながり、市民協働で心豊かな地域社会を

2012年2月26日（日）、ホテルニューオータニ長岡（NCホール）において、県労福協・長岡地区労福協主催により、人と人とのつながりを大切に市民



協働で心豊かな地域社会をめざした「人にやさしい街づくり」の講演会が開催され220名を超える市民が参加されました。

主催者を代表し江花理事長から、格差と貧困の拡大とセーフティネットや手を携える地域社会の必要性についての挨拶がされました。

石井めぐみさん（女優）からは、障害のある自分の子育て体験が語られ、「障がい児は懸命に生きて親に喜びを与えてくれる。



困っている人を見たら立ち止まって目を合わせれば、その人に何か手伝えることがあるはずです。」と、一人ひとりが思い

やりをもつことの大切さが語られました。

併せて、長岡地域で活動している「市民協働ネットワーク長岡副代表理事：稲垣文彦氏」、「多世代交流館になニーナ代表理事：佐竹直子氏」、「ぷれジョブにいがたin長岡：品田真裕美氏」など、3団体から市民協働の取り組みについての報告があり意義ある講演会となりました。

はたらけん、生活応援バンク **ろうきん**

おかげさまで、新潟ろうきんは創立60周年を迎えました。

ありがとう60年 **60th anniversary** さらなる飛躍のために

全店一斉開業 毎月1回 **日曜ローン相談会** お近くの(ろうきん)でお持ちしております！

県内5カ所 **ろうきんローンプラザは 毎週土曜・日曜も ローン相談ができます。**

新潟県労働金庫 0120-191-880 (平日9:00～17:00) 新潟ろうきん

2012国際協同組合年 協同組合がより良い社会を築きます ～県内の協同組合など15団体が参加～

2012年は国連が定める「国際協同組合年(略称：IYC)」です。国連総会(2009年12月)の決議で「協同組合が経済と社会の発展への主要素となりつつあり、雇用の創出や貧困の根絶に寄与するものである」、と認識し協同組合の発展につながる政策を各国に働きかけています。日本は急速に変化する社会・経済情勢のもと、格差と貧困の拡大、環境破壊、放射能汚染など多くの課題を抱え政治、経済も出口の見えない不況にあえいでいます。



行き過ぎた市場主義経済から2012年を次の時代の新しい社会システムの構築に向けたステップとして協同組合がどう関わりどのような役割を果たしていくか問われています。



協同組合と労働運動は、一体的な社会運動として誕生してきた歴史があります。

「ともに運動する主体」として、新潟県実行委員会主催の記念シンポジウム「国際協同組合年in新潟」が7月12日、新潟ユニオンプラザで開催されます。イベント参加で終わらせることなく、さらに関係を強化し協同組合運動を社会にしっかり根付かせていくための取り組みが進められます。

当面の主な活動予定

- 4月 25日(水) 2012国際協同組合年事業勉強会
28日(土) 第83回新潟県中央メーデー
- 5月 9日(水) 新潟県労福協第92回理事会
新潟県L S C第10回理事会
- 15日(火) 第25回新潟県労福協
チャリティゴルフ大会
- 16日(水) 第187回東部ブロック幹事会
- 18日(金) 第1回新潟県消費者ネットワーク
運営委員会
- 23日(水) 中国黒龍江省総工会表敬訪問
～28日(月) 〃 〃
- 6月 8日(金) 第29回新潟県労福協定時総会
第5回新潟県L S C通常総会
- 12日(火) 第58回新潟県総合生協
通常総代会
- 13日(水) 中央労福協理念・歴史講座
～15日(金) 〃 〃
- 25日(月) 第60回新潟県労働金庫通常総会
- 7月 6日(金) 東部ブロック
～7日(土) 労福協福祉リーダー塾
- 12日(木) 国際協同組合年in新潟
記念シンポジウム
- 17日(火) 第2回地方労福協会議
- 18日(水) 国際協同組合年中央イベント
- 24日(火) 連合新潟高齢者協議会
結成20年記念パーティ

地域に貢献するNPOや 市民活動団体の力になりたい!

**2011年度「NPO等助成事業」は、
21団体に総額942.1万円を助成しました。**

【当財団の助成事業】

新潟県労働金庫からの寄付金1億円を基金に、平成15年から10年間の計画
毎年1,000万円をNPO等市民活動団体に助成することで、
勤労者・県民の社会的・経済的・文化的地位の向上に寄与することを目的としています。

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館内
(財)新潟県勤労者福祉厚生財団

地域の幸せと力に

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (平成24年2月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高(千円)
無担保ローン	11,643,023
住宅ローン	109,735,167
合 計	121,378,190



〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18

新潟県労働者信用基金協会

＜第25回新潟県 労福協チャリティゴルフ大会＞

賞品相当額（一部）＋チャリティ金は、東日本大震災の義援金へ

開催日 2012年5月15日（火）
開催場所 フォレストカントリー倶楽部
主催 一般社団法人新潟県労働者福祉協議会
協賛団体 連合新潟、新潟県労働金庫、新潟県総合生活協同組合

協働って？

聞きなれない言葉に思えるけど、昔からやっていること、でも。それを“今ふう”に！

様々な団体や人が、それぞれの力を発揮して、地域や社会をつくるのが「協働」です。

昔から地域の集落や共同体を構成する人たちが「協働」の主役でした。

今や、国内外との人や情報の交換が盛んです。地域に暮らす一人一人がマスメディアやインターネットを通じて日本はもちろん世界中の情報を手に入れられるようになり、多様な価値観をもつようになっています。

Ｉターン・Ｕターンをして新しい考え方で地域を元気にする活動に取り組む人が大勢いますし、外国から来た人が、地域で活躍していたりもしています。また、NPOや企業が地域で盛んに活動するよ

うになりました。

一方で、過疎化や少子・高齢化によって、昔のようにそこに暮らす人たちだけで地域の活力を維持していくことが難しくなっているところもあります。

そこで、改めて「協働」です。行政のほか、NPOや企業などの幅広い団体や人が地域に暮らす人たちと一緒に、お互いに特性を認識し、尊重し合って地域の活性化に取り組む。

広く社会の公益的課題の解決や社会的目的の実現のために協力・協調して活動する。そんな、“今ふう”の、開かれた「協働」が大切になっています。

新潟労福協企画『友好の旅』

「台湾美食紀行5日間」

出発日 2012年10月19日(金)～23日(火) 5日間
11月3日(土)～7日(水)

●旅行代金 **129,000円**

(新潟空港発着・往復エコノミークラス利用・2名1室利用お一人様代金)

「友好の旅」のこだわり

- 昼食・夕食は台湾美食を毎回ご堪能いただけます。
 - 4日目の夕食「友好パーティー」ではお飲物(ビール・ワイン・紹興酒)をサービスいたします。
 - 宿泊は高級クラスのホテルをご用意いたします。
 - 台湾新幹線に乗りします。
 - 全行程観光付きで、ゆっくりご見学いただけます。
 - 故宮博物院での見学時間をたっぷりとお取ります。
 - ベネチア映画祭でグランプリに輝いた名作映画「非情城市」の舞台、九份をご案内します。
 - らくらく新潟空港発着です。
 - 安心の添乗員同行です。
- (燃油付加運賃、現地空港税は別途かかります。
4月現在約15,000円)

日程	スケジュール	食事
1日目	新潟空港より、ソウルで乗換え台北へ	夕
2日目	台湾新幹線(普通車)にて高雄へ 着後、高雄市内観光&ショッピング ○澄清湖○蓮池潭○寿山公園	朝、昼、夕
3日目	台湾新幹線(普通車)にて台北へ 着後、台北市内観光&ショッピング ○中正紀念堂○總統府○龍山寺	朝、昼、夕
4日目	九份観光 ○故宮博物院○忠烈祠	朝、昼、夕
5日目	空路、ソウルで乗換え新潟へ	朝



勤労者の暮らしをサポート 育成会

(正式名称)

「勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」

- 育成会とは新潟労金に加入している団体会員（県内約2500会員）によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があり、それぞれの地域で勤労者福祉の前進に関する諸活動を行っています。
- 育成会役員は各店舗ごとに設置された労金常任推進機構から選出されています。

夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない勤労者の方が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

ご加入資格 県内に居住または勤務する勤労者の方。

ご入会 (年会費はかかりません)

入会時に500円(加入金)が必要となります。



労金関係業務(育成会・夢咲Club)運営事務局 勤労福祉会館内

連絡先 Tel 025(281)1188

E-mail: ni-lscr@apost.plala.or.jp